

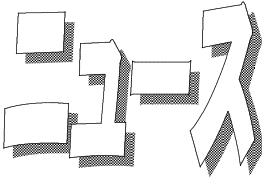
第23回定期大会を開催しました

三八地労連第23回定期大会は7月9日土曜日、三八教育会館で開催されました。大会議長には年金者組合・佐藤正博代議員が選出されました。松田勝市議長が来賓としてあいさつし、住宅を失った116人の市民への生活支援を、借金がかさんでしまう融資による事業支援でなく、これまでの対応を超えた支援が必要と訴えました。

新岡事務局長が、活動のまとめと2011年度運動方針等の議案を提案しました。ひだまりユニオンと協力して労働相談に取り組み、団体交渉や労働審判等で解決してきたこと、長内裁判の勝利、自治体要望書の成果(高

三八地方労働組合総連合
発行●2011年8月4日
・第121号●八戸市柏崎
1-10-34 対馬治療院2階
☎・Fax 0178-47-8886

三八地労連



齢者団体の公民館使用料免除や3ワクチン無料接種)、三八地区だけに残る私立高校入学金先取り問題の経緯、「三八地労連Web」の開設などが報告されました。運動方針として、地域主権改革や国公労働者の賃金カットに反対していくこと、再処理工場の閉鎖・核燃サイクル施設の中止を求め、地域運動を追求すること等が強調されました。また、代議員が1名の場合、大会運

営規則の改定を提案しました。討論では、10人の代議員が発言しました。年金者組合・高橋代議員は、自治体要望書への回答をもとに長者公民館と折衝して年金者組合支部定期大会の使用料が免除になった、6年後の倍加をめざす年金者組合の組合員拡大に協力をと発言しました。郵便業・松川代議員は、郵便事業会社がペリカン便の問題で1000億を超える赤字を出した。労働者には転嫁しないと云ったが、年間135月の削減が押しつけられようとしている。郵便事業は非正規が多く日

本一のワーキングプア会社だ、ひだまりユニオンと協力して解雇問題にも取り組んでいると発言しました。海運分会・菊池代議員は、賃金カット問題について発言し、「自らも被災しながら、身を粉にしてがんばっている組合員もいるのに、何ともやりきれない思いがする」と述べ、団体署名を参加者に要請しました。また、財界主導の復興策や(震災に乗じた)庶民増税を許してはならないと発言しました。

した。橋本代議員も、職場の状況を語り、ハローワークでは震災に伴う様々な業務が今も続いている、人員の削減は容認できないと述べました。県教組・寺下代議員は、学校では、指導要領の改訂により学習内容・時間が増え歯止めのない多忙化が進行していると「三八教育新聞県教組三八支部発行」を配布して説明しました。また、教員免許更新制を一刻も早くなくしたい、核兵器廃絶の取り組みを強めるために今年の原水爆禁止2011年世界大会・長崎に参加することを報告しました。高教組・大黒谷代議員は、震災で水産高校が大きな被害(ドックと実習船)を受けたこと、親も被害を受けており、生徒の心のケアも必要になっていることを報告しました。パワハラ問題が起きているが組合で取り組んで少しずつ解決してきている、新採用職員への働きかけを強め組織拡大に努力していると発言しました。東北ビル従組・荒谷さんは、社内組合はまったく動かないので職場の風通しが悪い、業務請負先で津波で車が被害にあったのに会社にも言えない状況があると発言、組織拡大で職場改善をと発言しました。

八戸職安・阿部代議員は、資料を配布し、「地域主権改革」は、聞こえはいいが実際には地域住民への国の責任放棄だ、全国一律の公務サービスを堅持するために「地域手練改革反対」の取り組みをすすめるよう発言しま

た。八医労・菊池代議員は、来年4月に医療保険制度と介護保険制度の改定が予定されている

て、患者・利用者のいつそうの負担増となる恐れがあることを訴えました。また、民医連から派遣され、大船渡で医療支援チームとして、相談活動やマッサージ、避難所では無料で治療や薬の処方等も行ったことを発言しました(三八地労連Webに掲載)。全医労・森越代議員は、組織率5割の確保を重要課題としてがんばっている、給食の二分の一が民間委託化され職員と外部業者が混在している一問題があり団体交渉中、「評価」の問題にも継続して取り組んでいることを報告しました。

はちのへ九条の会
学習講演会
日時 8/20(土)
13時30分
会場 三八教育会館
演題 TPPが及ぼす
農林漁業への
影響
講師 神田健策氏

